



スポーツ文化研究



キーワード スポーツ文化/ 伝統スポーツ/ 身体観/

どのような研究をなぜ行っているか



モンゴル相撲



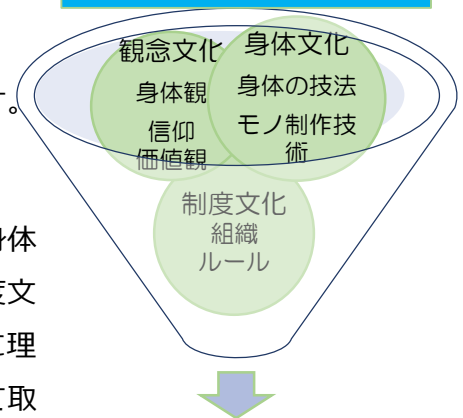
奈良市月ヶ瀬村太鼓踊り

主に伝統的なスポーツ文化を研究対象とし、「人間にとってスポーツとは？/スポーツをする身体とは何か？」を問い、スポーツの本質について考察しています。

こうした研究の背景には、AIテクノロジーが進化した現代社会が、益々「身体的なもの」と疎遠になってきている状況があげられます。そうした現状で、身体への向き合い方を今一度、問い直す必要があると考えます。よって、人々の暮らしの中で伝承されてきたスポーツ文化の中に、「我々がどのように自らの身体と向き合ってきたのか」「身体を介してどのように共存してきたのか」を見出し研究を行っています。

そうした考察の延長線上に、保健体育の教育の意義に繋がる理論があると考えています。

文化としてのスポーツ



スポーツの本質的理解
地域文化理解
国際文化理解
身体技法の伝承

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

「文化としてのスポーツ」を扱う研究は、先にも述べたように身体観・身体感を明らかにするだけでなく、観念文化、身体文化、制度文化の要素をもつ複層的な文化であることから、当該社会を総合的に理解することに繋がります。さらに、これらを学校教育の教材として取り上げることで、地域社会・国際社会を総合的に学ぶことができ、「文化としてのスポーツ」を伝承する意義を学習することができます。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 発展途上にあるモンゴル国の子どもの身体発育加速化現象とスポーツ医科学の学術調査（科研助成2017-）
- 現代大学生の身体観の検証と身体教育へのアプローチ（科研助成2013-2015）
- 県立奈良高校部活動点検委員会委員長（2020-2021）
- 奈良工業高等専門学校「しなやかエンジニア教育プログラム」講師「伝統スポーツの身体感」（2022）